

高岡市歴史的風致維持向上計画～高岡市歴史まちづくり計画～（第2期）（素案）説明資料

●今回の提案内容

高岡市歴史まちづくり計画（正式名称「高岡市歴史的風致維持向上計画」）について、令和2年度が最終年度であることから、現計画の課題を整理し、令和3年度を始期とする第2期計画の素案を取りまとめたもの。

1. 高岡市歴史まちづくり計画（第2期）の策定趣旨

■ 歴史まちづくり計画とは

・歴史的風致の維持向上を図るためのまちづくりの方針を定めるもの。

■ 策定の背景と目的

本市の歴史は古く、天平の時代には、万葉の歌人・大伴家持が越中国守として、現在の伏木にあった国府に赴任し、高岡の自然や風物に感銘を受け、多くの秀歌を詠むなど万葉の故地である。

また、加賀前田家2代当主前田利長により高岡城の城下町として開町され、3代当主利常による“城下町から商工業の町へ”の政策の転換により、「商都高岡」として発展してきた。

1期計画では近世から近代における歴史や伝統を基本に取組みを実施  
⇒課題は残されており、引き続き取組む必要がある

万葉の歌人・大伴家持が越中国守として現在の伏木にあった国府に赴任していた時代の歴史的資産が北部地域に集中  
⇒北部地域への取組みの強化

古代からの歴史的資産と合わせて、歴史や伝統を再構築し、観光資源として活用を図りながら「歴史都市」の魅力をさらに高めるもの。

■ 位置付け

・総合計画に即したものであり、都市計画マスタープランや景観計画などの関連計画と連携。

■ 計画期間：令和3年度～令和12年度の10ヵ年

■ 対象区域：高岡市全域

2. 現計画の課題

■ 歴史と伝統を反映した工芸技術及び祭礼・年中行事の継承と育成

○伝統工芸従事者の減少

・高岡銅器、高岡漆器  
(銅器) H20 1634人 → H30 1144人(約30%↓)  
(漆器) H20 133人 → H30 105人(約21%↓)

・伝統産業の従事者が依然として減少傾向であり、今後も後継者不足が懸念。  
・若者地域離れなどにより今後も地域固有の祭礼行事の維持が困難になる恐れ。

■ 歴史的建造物の保存と活用

○国・県・市指定文化財の保存  
瑞龍寺、勝興寺、旧秋元家住宅などの保存修理完了。  
→前田利長墓所、高岡城跡等の整備が未完了。

・一定程度保存が図られたがまだ整備が完了していないものがある。

○国の登録有形文化財  
12件歴史的風致形成建造物に指定し、5件の保存修理を実施。  
→個人所有のものも多くが未修理として残されている。

・所有者の高齢化などにより維持管理が困難。

○歴史的風致形成建造物の保存・活用  
8件/16件の保存活用実施(うち5件は登録有形文化財)

・約半数の保存が図られていない。

■ 歴史的な町並みの保全と周辺環境の調和

○重伝建地区及び景観形成重点地区等において建物等の修理や建物修景の支援を実施。  
○道路修景整備について7路線のうち5路線完了。  
○歴史的な建築物を活用した民間主体の取組みを支援。

・重伝建地区及び景観形成重点地区等において一定程度保全が図られたが、まだ保全が図られていないものがある。  
・道路修景整備は2路線が未完了。  
・歴史的な建築物を活用した取組みは一定の効果が得られている。

3. 歴史的風致の範囲について

■ 歴史的風致とは

・「地域におけるその固有の歴史及び伝統を反映した人々の活動とその活動が行われる歴史上価値の高い建造物及びその周辺の市街地とが一体となって形成してきた良好な市街地の環境」と定義し(「地域における歴史的風致の維持及び向上に関する法律(歴史まちづくり法)第1条)、ハードとしての建造物、ソフトとしての人々の活動を合わせた概念。

1期計画から継続する風致

※2ページ参照

- ①加賀前田家と商人のまちに見る歴史的風致  
(現計画の「商人のまちと祭礼行事に見る歴史的風致」と「利長・利常への報恩感謝と前田家の遺産に見る歴史的風致」を統合)
- ②鑄物のまち金屋に見る歴史的風致
- ③北の玄関口伏木・吉久と祭礼行事に見る歴史的風致
- ④勝興寺と寺内町に見る歴史的風致
- ⑤旧北陸道と越中福岡の菅笠づくりに見る歴史的風致

2期計画で新たに追加する風致

- ⑥越中国府関連遺跡と氣多神社に見る歴史的風致

4. 取組方針

■ 1期計画の方針を基本とする取組みの推進

歴史的風致に息づく歴史と伝統を反映した工芸技術及び地域固有の祭礼・年中行事の継承と育成

- 祭礼行事や伝統工芸産業の後継者不足に対する支援の継続  
➢ 高岡御車山保存修理事業、菅笠保全対策事業、文化財等修理補助事業 など
- 地域住民や学校などの取組の継続  
➢ ものづくり・デザイン科推進事業 など

歴史的風致の核となる歴史的建造物の積極的な保存と活用

- 国・県・市指定文化財の継続的な保存修理の実施  
➢ 前田利長墓所整備事業、高岡城跡保存整備事業、金屋鑄物師交流館整備事業、勝興寺公開活用事業
- 国の登録有形文化財を必要に応じて歴史的風致形成建造物へ指定
- 歴史的風致形成建造物の継続的な保全活用の実施  
➢ 市内町家等再生事業

歴史的風致を形成する歴史的な町並みの保全と周辺環境の調和

- 建物修景補助や屋外広告物の適正化における継続的な取組みの実施  
➢ 重要伝統的建造物群保存地区保存修理事業、町並み保存・都市景観形成補助事業
- 道路修景整備の継続的な実施  
➢ 県道岡笹川線道路整備事業、勝興寺寺内町道路修景整備事業
- 歴史的建築物の利活用の推進(保存から活用への取組みを推進)

10年後の目指すまちのイメージ

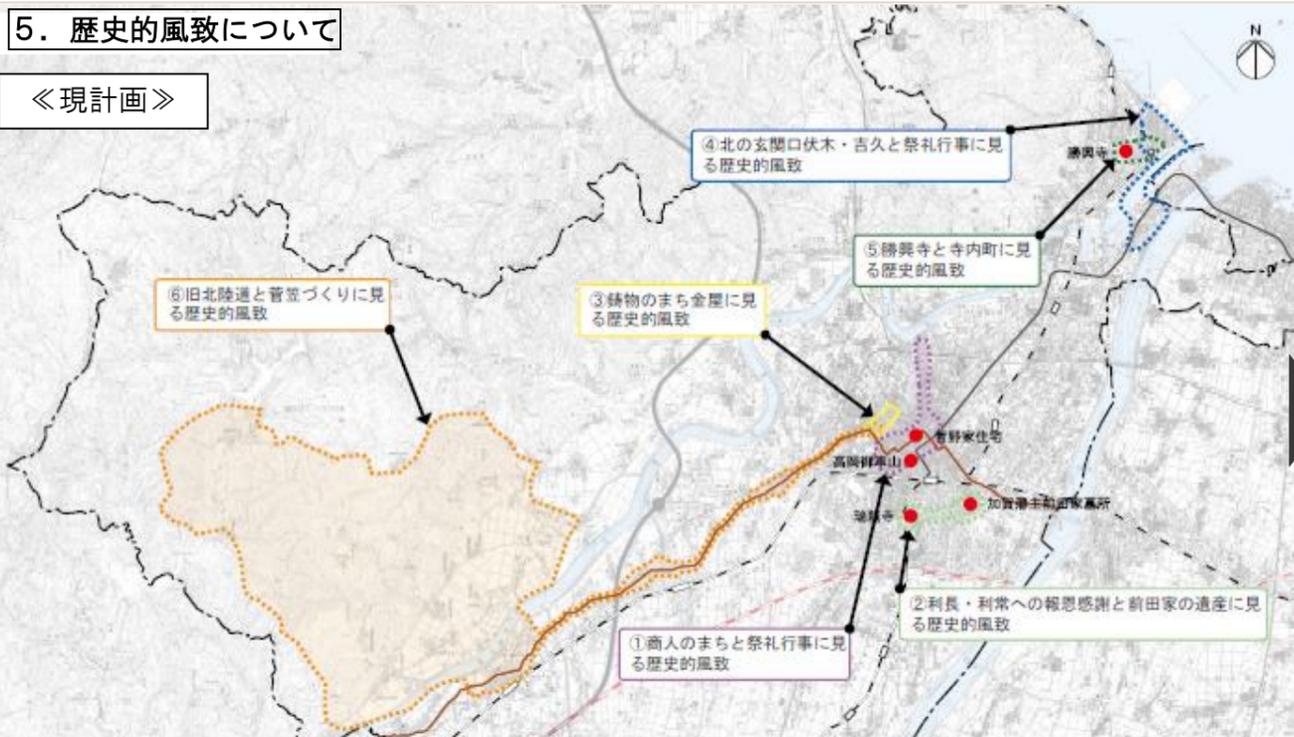
伝統工芸技術や営みが次世代へ継承されるとともにそれらを市民が再認識し、「高岡らしさ」を発見できるまち

歴史的風致の核となる歴史的建造物が適切に保存され、魅力的な活用が図られ、再興しているまち

地域固有の歴史やまちなみなどの個性が活かされた魅力的なまち

## 5. 歴史的風致について

### 《現計画》



#### 1 商人のまちと祭礼行事に見る歴史的風致

開町以来の商人町である山町には、豪華絢爛な高岡御車山(祭)が守り伝えられ、山町筋の重厚な土蔵造りの町並みと相まって、壮麗かつ端正なたたずまいを醸し出している。



高岡御車山と山町筋

#### 2 利長・利常への報恩感謝と前田家の遺産に見る歴史的風致

利長の菩提寺である瑞龍寺では、ひとつやいとや燭光能が執り行われ、八丁道や前田利長墓所とともに利長の遺徳を偲び、感謝と畏敬の念を表する荘厳な雰囲気にはまっている。



瑞龍寺加藍

#### 3 鋳物のまち金屋に見る歴史的風致

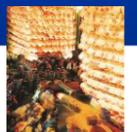
高岡鋳物発祥の地である金屋町には、利長に報恩感謝の念を表す御印祭があり、弥栄節を誦う様が、さまのこの町並みと相まって、鋳物師たちの心意気と情緒を醸し出している。



御印祭

#### 4 北の玄関口伏木・吉久と祭礼行事に見る歴史的風致

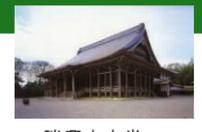
古くから海運で栄えた伏木には、「かつちゃ」と呼ばれる山車をぶつけ合う勇壮な伏木曳山祭(けんか山)があり、和洋折衷建築と相まって、みなと町らしさが色濃く残っている。また、御蔵のあった吉久には、伝統的な町家が米商で栄えた歴史を今に伝えている。



伏木曳山祭

#### 5 勝興寺と寺内町に見る歴史的風致

浄土真宗本願寺派の古刹である勝興寺では、御満座法要などの宗教行事が地域の人々の手によって執り行われ、寺院建築や伝統的な町家とともに独自の寺内町を形成している



勝興寺本堂

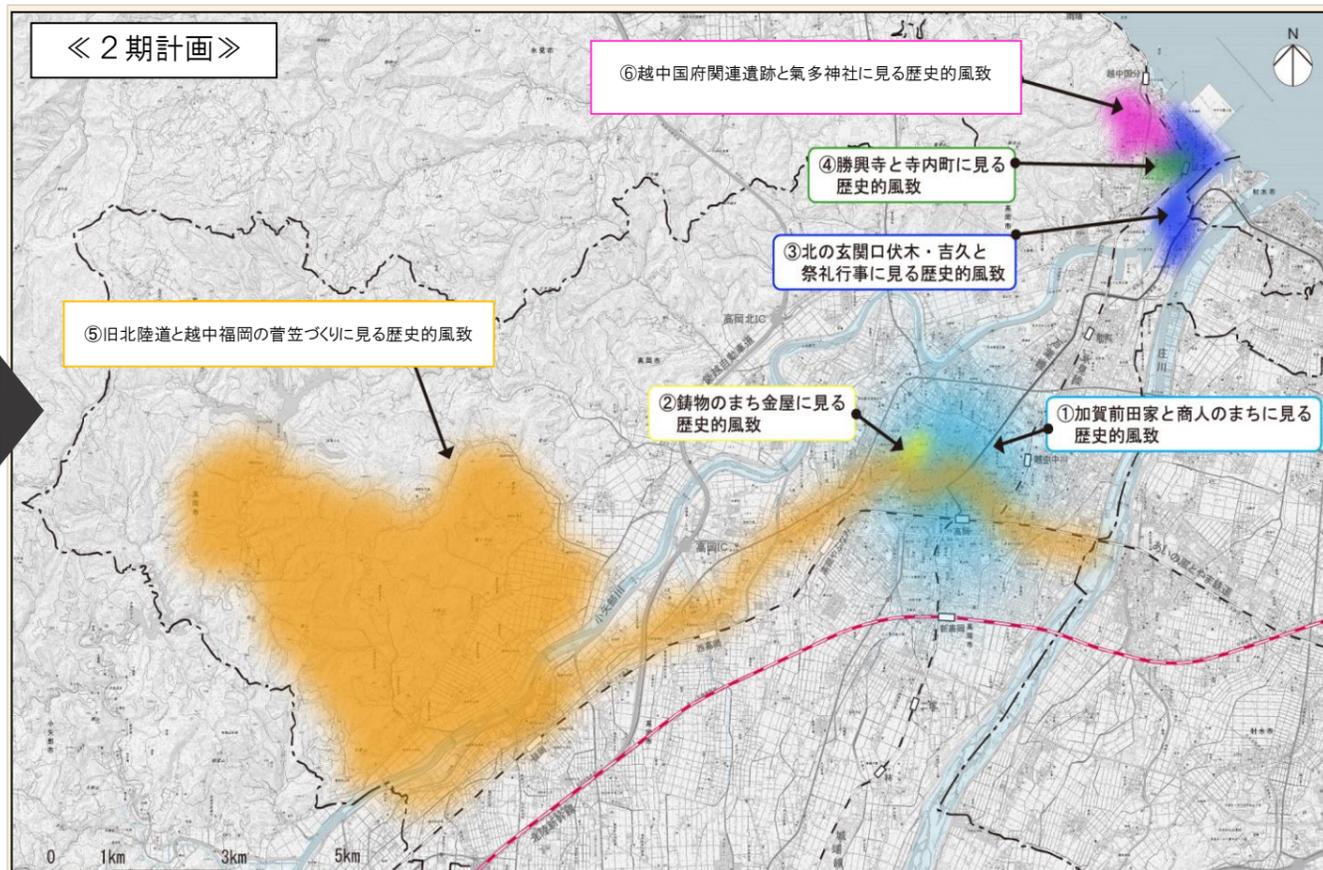
#### 6 旧北陸道と菅笠づくりに見る歴史的風致

旧北陸道には、特産品の集散地として発展した在郷町があり、なかでも、菅笠づくりに栄えた福岡町は、かつての菅笠問屋である伝統的な町家とともに、歴史的な風情を醸し出している。



旧菅笠問屋と町並み

### 《2期計画》



#### 1 加賀前田家と商人のまちに見る歴史的風致

利長により高岡城の城下町として開かれ、利常の商工業の町へと転換したことにより、この高岡は商人のまちとして発展してきた。開町以来の商人町である山町には、豪華絢爛な高岡御車山(祭)が守り伝えられ、また、利長の菩提寺である瑞龍寺では、ひとつやいとや燭光能が執り行われており、それらが、商都高岡の積み重ねてきた歴史と伝統、町立てに頼り受け継がれてきた町民たちの熱い思いを物語り、利長・利常への感謝と畏敬の念を表すように高岡の町並みと一体となっている。



高岡御車山と山町筋

#### 2 鋳物のまち金屋に見る歴史的風致

#### 3 北の玄関口伏木・吉久と祭礼行事に見る歴史的風致

#### 4 勝興寺と寺内町に見る歴史的風致

#### 5 旧北陸道と越中福岡の菅笠づくりに見る歴史的風致

#### 6 越中国府関連遺跡と氣多神社に見る歴史的風致

氣多神社では、「にらみ獅子」と呼ばれる昔から伝承されている素朴な舞獅子であり、天狗がいないことが大きな特徴である。社殿前にて「にらみ獅子舞」が奉納された後、囃子方の音色にあわせ舞う獅子が地区内の家々を巡り、歴史的な風情を醸し出している。



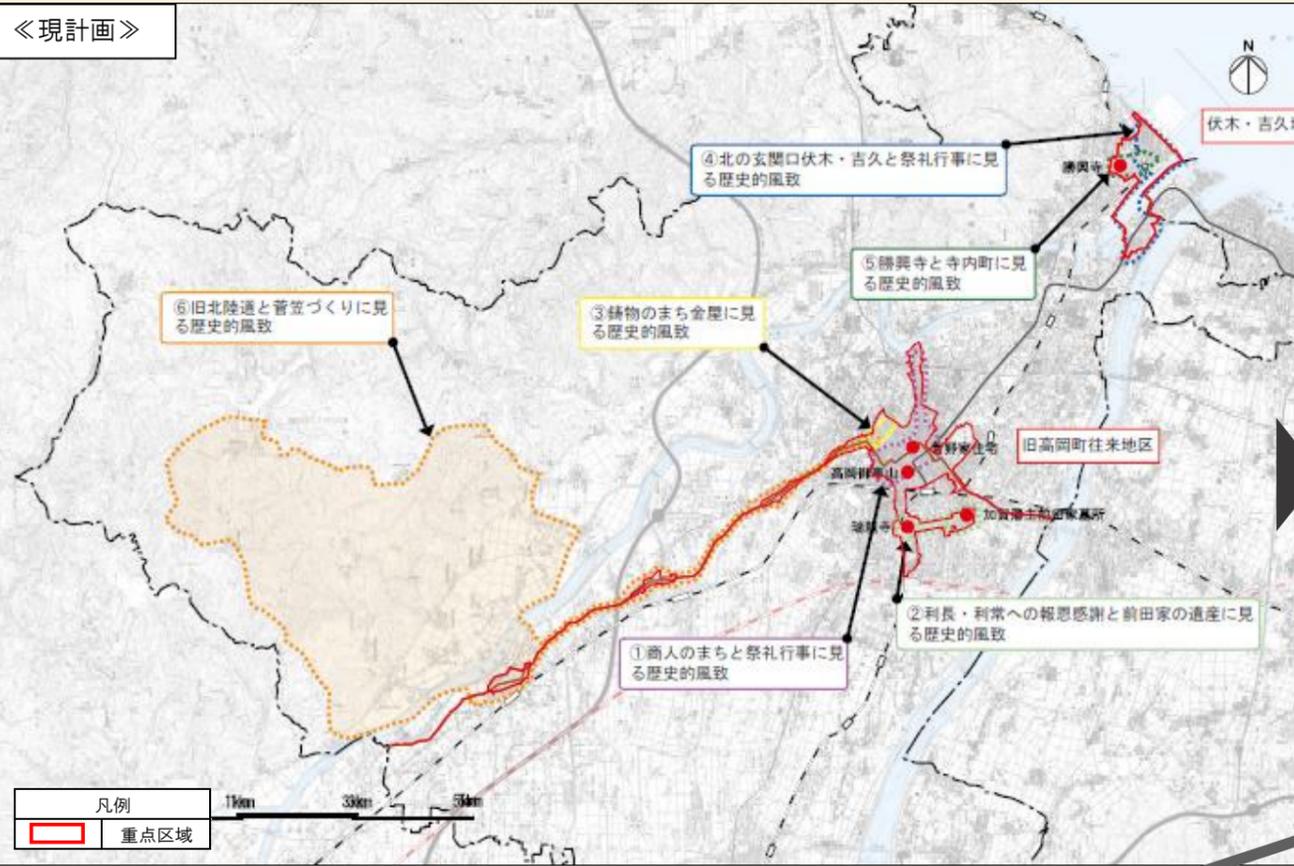
氣多神社のにらみ獅子

## 6. 重点区域について

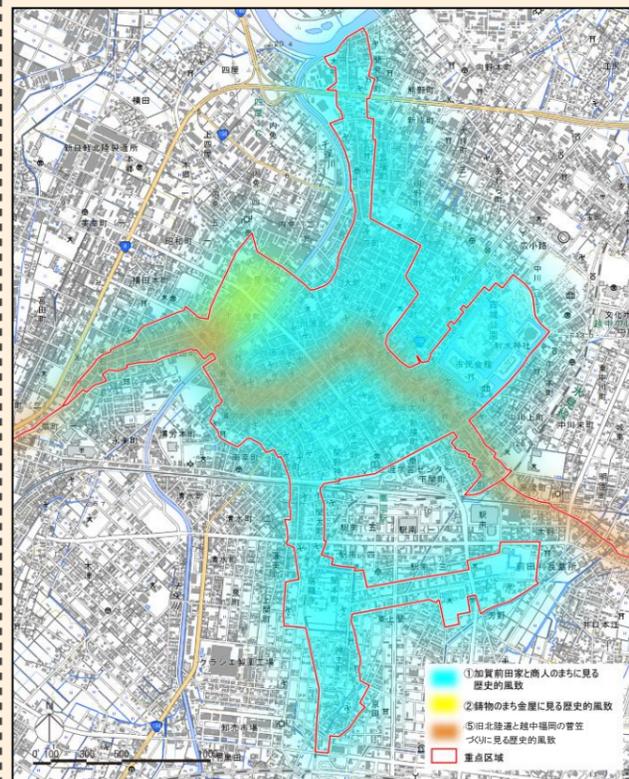
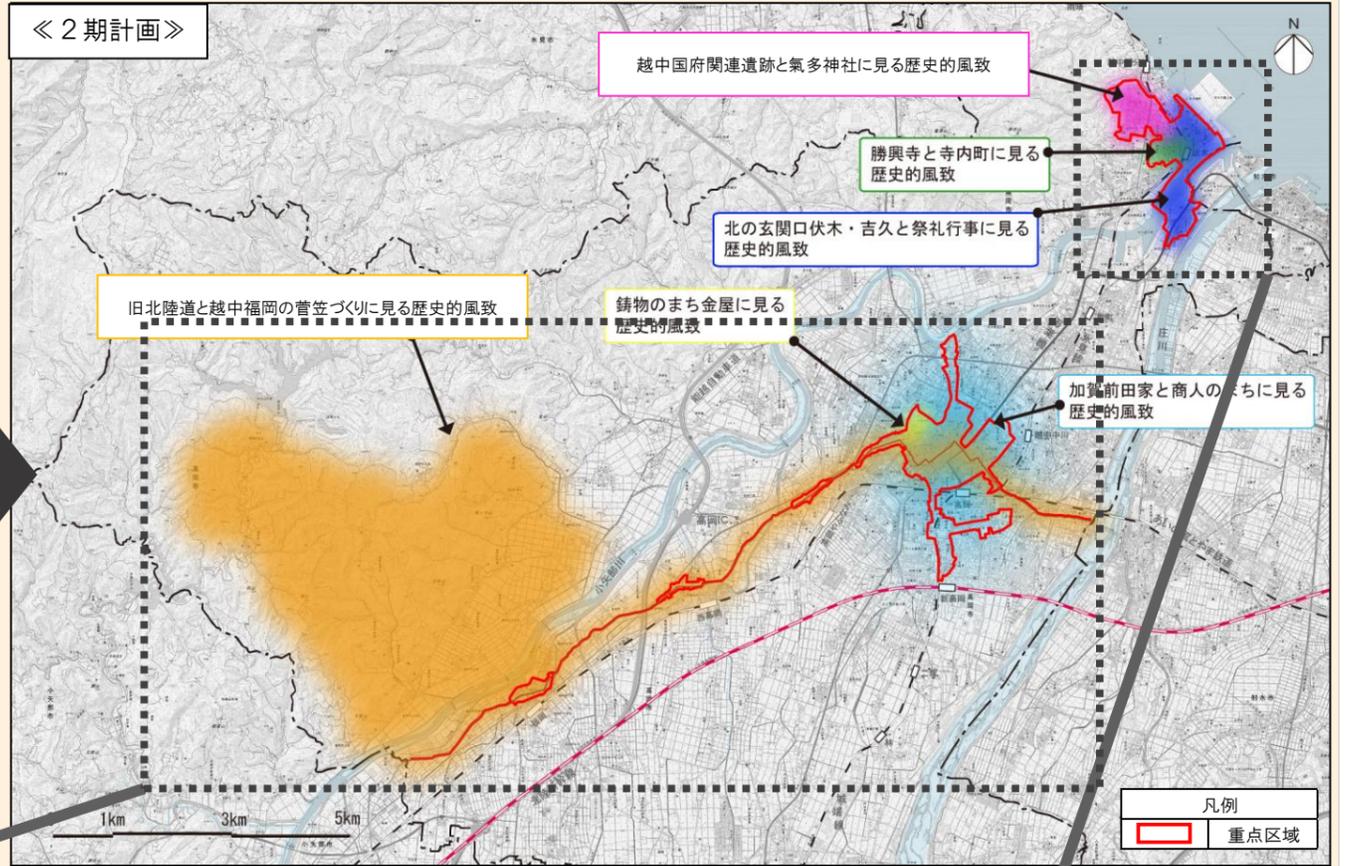
### ■ 重点区域とは

工芸技術、祭礼・年中行事の継承と担い手の育成、歴史的建造物の保存・活用、歴史的な町並みの保全と周辺環境の調和など、高岡の歴史的風致の維持及び向上を図るための施策を重点的かつ一体的に推進することが必要な区域。（歴史的風致の範囲内）

#### 《現計画》

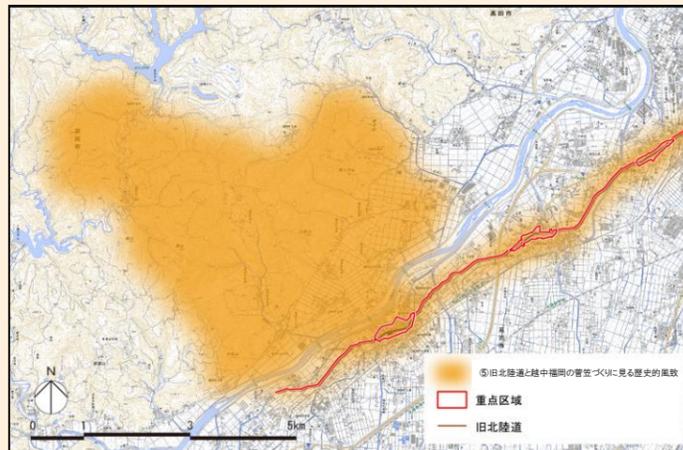


#### 《2期計画》



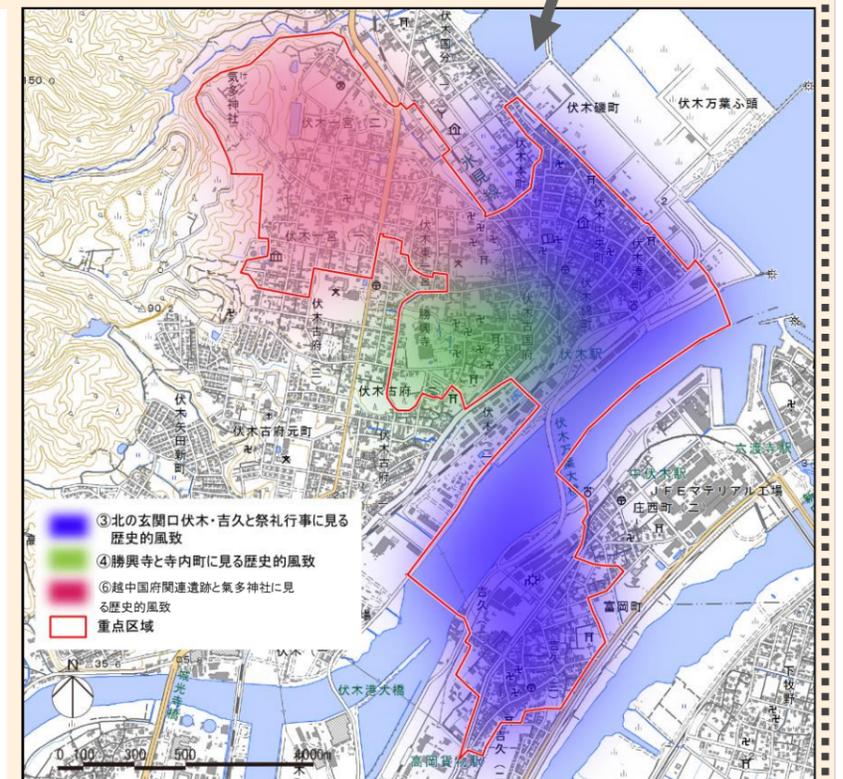
#### 《旧高岡町往来地区》

- ・面積約 308ha
- ・1期計画の範囲と同様
- ・関連する歴史的風致
- ① 加賀前田家と商人のまちに見る歴史的風致
- ② 鑄物のまち金屋に見る歴史的風致
- ⑤ 旧北陸道と越中福岡の菅笠づくりに見る歴史的風致



#### 《北部地区》

- ・面積約 209ha
- ・1期計画の範囲に⑥の歴史的風致（越中国府関連遺跡と氣多神社の範囲）を追加
- ・関連する歴史的風致
- ③ 北の玄関口伏木・吉久と祭礼行事に見る歴史的風致
- ④ 勝興寺と寺内町に見る歴史的風致
- ⑥ 越中国府関連遺跡と氣多神社に見る歴史的風致



## 7. 将来のイメージ図

### 目的

古代からの歴史的資産と合わせて、歴史や伝統を再構築し、観光資源として活用を図りながら「歴史都市」の魅力さをさらに高めるもの。

### 3つの方針が目指す10年後のまちのイメージ

歴史的風致に息づく歴史と伝統を反映した工芸技術及び地域固有の祭礼・年中行事の継承と育成

伝統工芸技術や営みが次世代へ継承されるとともにそれらを市民が再認識し、「高岡らしさ」を発見できるまち



歴史的風致の核となる歴史的建造物の積極的な保存と活用

歴史的風致の核となる歴史的建造物が適切に保存され、魅力的な活用が図られ、再興しているまち



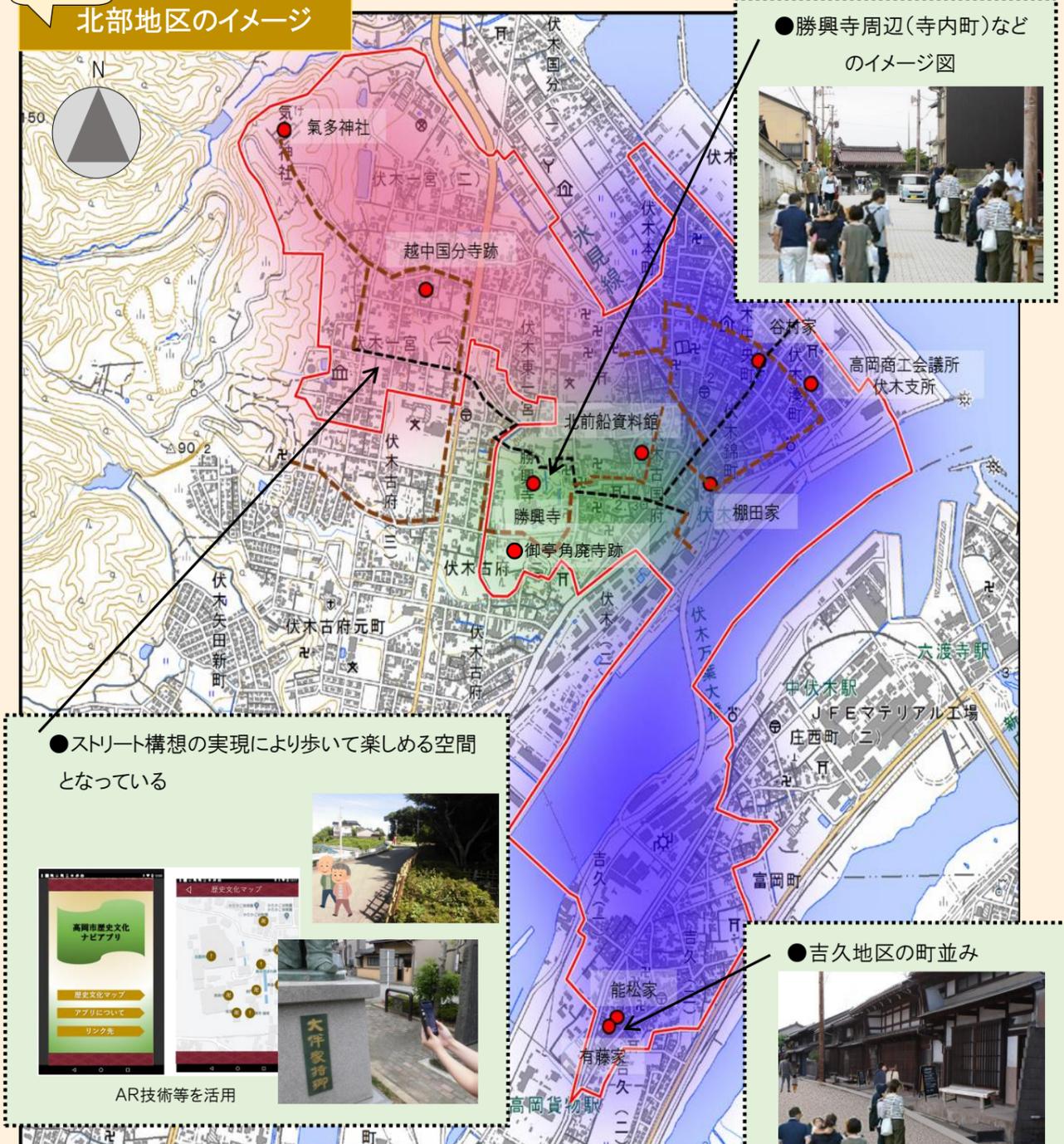
歴史的風致を形成する歴史的な町並みの保全と周辺環境の調和

地域固有の歴史やまちなみなどの個性が生かされた魅力的なまち



例えば

### 北部地区のイメージ



凡例

	③北の玄関口・伏木・吉久と祭礼行事に見る歴史的風致		重点区域
	④勝興寺と寺内町に見る歴史的風致		ストリート構想メインルート
	⑥越中国府関連遺跡と氣多神社に見る歴史的風致		ストリート構想サブルート